

十日町地域広域事務組合消防のあゆみ

<p>昭和47年 4月20日 十日町地域広域事務組合設立許可(県知事) 4市町村(十日町市、川西町、津南町、中里村)で、と畜場、福祉センター事務を共同処理</p> <p>4月24日 十日町地域広域市町村圏協議会の事業として、昭和48年4月を目標に一部事務組合方式で広域消防の実施が決定(広域市町村圏振興整備計画)</p> <p>10月11日 広域消防に関する消防本部・署設置義務政令指定申請書を県を通じ自治省に提出</p>	<p>6月1日 日赤救急車(トヨタコミュニーター)を津南分遣所に配置</p>
<p>昭和48年 4月1日 十日町地域広域事務組合同約変更県知事許可により、既設十日町市消防本部・署を廃止し組合消防本部・署、消防団4団を設置 1本部1署(職員49人)、4団(団員3,237人) 機械施設等は十日町市消防本部・署、各市町村消防団施設を引き継ぎ、広域消防業務開始警防課へ救急係を新設</p> <p>4月5日 自治省告示第74号により、川西町、津南町、中里村に消防本部・署、設置義務に関する政令指定</p> <p>9月1日 職員16人採用増員(総員65人)</p> <p>10月1日 川西、津南両分遣所が職員各9人で業務開始 消防ポンプ自動車(ニッサン)購入川西分遣所に配置</p> <p>10月23日 県単補助事業により救急車(トヨタコミュニーター)購入本署に配置</p> <p>10月25日 消防ポンプ自動車(ニッサン)購入津南分遣所に配置</p> <p>11月1日 日本自動車工業会から救急車(トヨタコミュニーター)の寄贈を受け川西分遣所に配置</p> <p>11月9日 川西分遣所庁舎竣工(川西町霜条地内)</p> <p>11月20日 津南分遣所庁舎竣工(津南町正面地内)</p>	<p>昭和51年 1月31日 県単補助事業により泡放射砲購入本署に配置</p> <p>3月20日 中里村消防団車庫兼詰所竣工</p> <p>6月16日 十日町市消防後援会から軽自動車の寄贈を受け連絡車として本署に配置</p>
<p>昭和49年 5月1日 職員4人採用、分遣所各11人(総員69人)</p> <p>6月1日 総務課庶務消防団係を庶務係と消防団係へ分割、予防課を新設し警防課予防係と救急係を予防課へ移管</p> <p>6月29日 自治省告示第131号により、川西町、津南町、中里村救急業務に関する政令指定</p> <p>10月4日 十日町地域消防本部・署庁舎竣工 (十日町市川治内後地内)</p> <p>10月14日 消防本部にC型緊急指令装置、構内電話交換設備設置工事完了</p> <p>10月26日 指令車(マツダルーチェバンデラックス)の寄贈を受け川西分遣所に配置</p>	<p>昭和52年 2月28日 ドア付消防車(ニッサンパトロール)購入本署に配置</p> <p>4月1日 職員3人退職、1人採用(総員70人) 総務課に中里詰所を新設</p> <p>6月14日 本署日赤救急車更新(ニッサンシビリアン)</p>
<p>昭和50年 5月1日 職員3人増員、分遣所各13人(総員72人)</p>	<p>昭和53年 4月1日 職員3人退職、6人採用(総員73人) 予防課救急係を警防課へ移管</p>
	<p>昭和54年 3月28日 救助工作車(ニッサンコンドル)購入本署に配置</p> <p>4月1日 職員3人採用、津南分遣所15人体制(総員76人)</p> <p>7月30日 津南分遣所指令車(トヨペットクラウン)更新</p>
	<p>昭和55年 3月28日 消防本部に救急医療情報システム端末設備設置(県委託)</p> <p>4月1日 通信救急課と通信係を新設、救急係を警防課から通信救急課へ移管</p> <p>5月19日 中里村に消防連絡車(ニッサンブルーバード)配置</p> <p>6月1日 職員1人退職、1人採用(総員76人)</p> <p>6月9日 日赤からⅢB型救急車(ニッサンシビリアン)の寄贈を受け川西分遣所に配置</p> <p>7月15日 本署に指令車(トヨペットクラウン)配置</p> <p>8月1日 新潟県消防学校へ1人教官派遣(4か月)</p> <p>10月5日 日本損害保険協会から消防ポンプ自動車(トヨタランドクルーザー)の寄贈を受け本署に配置</p>
	<p>昭和56年 4月1日 職員1人退職、3人採用(総員78人)</p> <p>8月1日 川西分遣所2人増員し15人体制</p> <p>9月3日 本署に連絡車(スズキジムニー)配置</p>
	<p>昭和57年 3月3日 十日町地域消防本部、津南町消防団が消防庁長官から竿頭授受章</p> <p>4月1日 職員1人退職、1人採用(総員78人)</p> <p>6月11日 本署に気象観測収録装置設置</p> <p>7月23日 本署日赤救急車(ニッサンシビリアン)更新</p>

11月17日	津南町消防団が水防功勞により北陸地区治水会から表彰される
12月14日	本署連絡車(スバルレックス)更新
昭和58年	
4月1日	職員1人退職、1人採用(総員78人)
5月14日	本署指揮連絡車(スバルレオーネ)更新
6月1日	十日町市消防団、災害の発生防止、復旧事業促進の功により全国防災協会から表彰される
6月5日	十日町市消防団、水防功勞により信濃川・魚野川水防連絡会から表彰される
8月2日	津南分遣所日赤救急車(ニッサンキャラバン)更新
9月9日	川西分遣所指揮連絡車(ニッサンダットサン)更新
12月9日	本署訓練塔建設工事竣工
昭和59年	
1月14日	本署化学車更新、旧化学車津南分遣所へ配置換え
2月10日	中里村消防団、日本消防協会から表彰旗受章
3月25日	広域事務組合発足10周年記念式典挙行
4月1日	職員1人退職、1人採用(総員78人)
4月18日	職員1人退職(総員77人)
11月6日	津南分遣所消防ポンプ自動車(ニッサンサファリアA-2級)更新
12月17日	中里村消防団、消防庁長官から災害現場功勞表彰受章
昭和60年	
2月8日	十日町市消防団、日本消防協会から竿頭授受章
4月1日	職員4人採用(総員81人) 地域消防史編纂プロジェクトチーム編成 総務課中里詰所を廃止し、中里消防係新設
9月1日	中里村消防団、災害現場功勞により内閣総理大臣から表彰される
9月2日	川西分遣所消防ポンプ自動車(イズズエルフA-2級)更新
昭和61年	
4月1日	職員3人退職、3人採用(総員81人)
8月7日	川西分遣所日赤救急車(イズスファゴ4WD)更新
12月10日	職員1人退職、1人採用(総員81人)
昭和62年	
1月1日	本署に救助分隊を編成
4月1日	通信救急課廃止し、警防課へ通信係と救急係統合
8月3日	本署日赤救急車(トヨタ4WD)更新
10月14日	本署泡放射砲積載車(三菱キャンター4WD)更新

昭和63年	
8月7日	第39回新潟県消防大会を十日町市で開催(ポンプ車操法の部で十日町市消防団優勝)
8月26日	日本消防協会から指令広報車(三菱ランサーバンDX)の寄贈を受け津南分遣所に配置 日本消防協会から小型動力ポンプ付積載車(トヨタハイエース)の寄贈を受け川西町消防団に配置
10月12日	第11回全国消防操法大会(於:横浜市) 十日町市消防団第16分団がポンプ車操法に出場
平成元年	
3月20日	本署屈折はしご付消防ポンプ自動車更新(30m級はしご付消防自動車(東急メッツDL30h型))
4月1日	職員4人退職、4人採用(総員81人) 予防課へ危険物係を新設 新潟県消防学校へ1人教官派遣(6か月)
7月28日	本署指令車(ニッサングロリア)更新
8月20日	第40回新潟県消防大会(於:朝日村) 小型ポンプ操法の部で中里村消防団優勝
12月10日	本署訓練塔補強増設
12月22日	本署消防ポンプ自動車2号車(三菱キャンター4WD A-2級)更新
平成2年	
2月14日	川西町消防団、日本消防協会から表彰旗受章
3月20日	緊急指令装置II型(NEC)更新
4月1日	職員1人退職、1人採用(総員81人)
6月30日	職員1人退職(総員80人)
9月7日	津南分遣所救急車(ニッサンホームー4WD)更新
12月20日	緊急情報システム、無線統制台設置
12月27日	本署消防ポンプ自動車3号車(三菱キャンター4WD A-2級)更新
平成3年	
2月28日	職員1人退職(総員79人)
3月6日	中里村消防団、消防庁長官から竿頭授受章
4月1日	職員1人退職、5人採用(総員83人)
8月1日	職員1人採用(総員84人)
平成4年	
3月25日	本署救助工作車(II型三菱ふそう8t級)更新
4月1日	職員2人退職、3人採用(総員85人)
6月15日	中里詰所連絡車更新(スバルレガシー4WD)
12月29日	十日町市消防団本部分団に資機材搬送車(ダイハツハイゼット4WD)配置
平成5年	
3月25日	津南分遣所消防ポンプ自動車(三菱キャンター4WD A-2級)更新

4月 1日	職員4人採用(総員 89 人) 完全週休二日制(週 40 時間勤務)実施 消防署の勤務体制を三交替制とし試行開始 総務課文書広報係、警防課訓練救助係新設	松代・松之山両町消防団の機械施設等を引き継ぎ、消防団2団を編入 1本部1署2分署2分遣所、6消防団(職員 113 人、消防団員 3,156 人)体制																		
6月 4日	本署指令2号車(スズキエスクード)更新	<table border="1"> <tbody> <tr> <td colspan="2">上越地域消防事務組合から譲渡された車両</td> </tr> <tr> <td colspan="2">〈松代分遣所〉</td> </tr> <tr> <td>消防車</td> <td>(イズエルフ 250 スーパー)</td> </tr> <tr> <td>救急車</td> <td>(トヨタハイエース)</td> </tr> <tr> <td>指揮連絡車</td> <td>(スズキジムニー)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">〈松之山分遣所〉</td> </tr> <tr> <td>消防車</td> <td>(ニッサンサファリ)</td> </tr> <tr> <td>救急車</td> <td>(トヨタハイエース)</td> </tr> <tr> <td>指揮連絡車</td> <td>(スズキエブリー)</td> </tr> </tbody> </table>	上越地域消防事務組合から譲渡された車両		〈松代分遣所〉		消防車	(イズエルフ 250 スーパー)	救急車	(トヨタハイエース)	指揮連絡車	(スズキジムニー)	〈松之山分遣所〉		消防車	(ニッサンサファリ)	救急車	(トヨタハイエース)	指揮連絡車	(スズキエブリー)
上越地域消防事務組合から譲渡された車両																				
〈松代分遣所〉																				
消防車	(イズエルフ 250 スーパー)																			
救急車	(トヨタハイエース)																			
指揮連絡車	(スズキジムニー)																			
〈松之山分遣所〉																				
消防車	(ニッサンサファリ)																			
救急車	(トヨタハイエース)																			
指揮連絡車	(スズキエブリー)																			
8月 5日	川西分遣所日赤救急車(トヨタハイエース4WD)更新																			
8月25日	川西分遣所指揮連絡車(トヨタランドクルーザー4WD)更新																			
9月 1日	十日町地域広域事務組合 20 周年記念事業として、組合章、組合旗、マスコットマーク制定																			
10月 1日	広域事務組合発足 20 周年記念事業として記念誌「鎮(しずめ)」発行	総務課庶務消防団係と中里消防係を廃止し、庶務係、消防団係を新設																		
平成 6年		9月 1日	新潟県・十日町市総合防災訓練を十日町市で開催																	
4月 1日	職員2人退職、1人採用(総員 88 人)	9月 8日	日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車(ニッサンコンドル A-1級)の寄贈を受け南分署に配置																	
5月31日	職員1人退職(総員 87 人)	平成10年																		
7月28日	本署救急1号車(トヨタアンビュランス4WD)更新	1月25日	西分署消防車(ニッサンアトラス A-2級)更新																	
8月 1日	職員2人採用(総員 89 人)	3月31日	日本自動車工業会から高規格救急車(トヨタ HIMEDIC 型)の寄贈を受け本署に配置																	
8月26日	本署連絡2号車(三菱ミニキャブ4WD)更新	4月 1日	職員2人退職、5人帰属、7人採用(総員 113 人)																	
9月30日	川西分遣所庁舎増改築工事竣工	11月26日	南分署救急車(トヨタアンビュランス II-B型4WD)更新																	
10月27日	本署訓練場造成工事竣工	平成11年																		
平成 7年		4月 1日	職員2人採用(2人退職、総員 113 人)																	
3月 3日	川西町消防団、消防庁長官から竿頭綬を受章	6月11日	十日町ライオンズクラブから赤バイ2台(ヤマハセロー225)の寄贈を受け本署に配置																	
4月 1日	職員1人採用(1人退職、総員 89 人)	6月30日	松代分遣所査察広報車(ニッサンウイングロード4WD)更新																	
11月 1日	職員1人採用(総員 90 人)	12月16日	松代分遣所救急車(トヨタグランビア II-B型 4WD)更新																	
12月25日	本署連絡1号車(ニッサンホームミー)更新	平成12年																		
平成 8年		1月17日	松之山分遣所消防車(三菱キャンターCD-I 型4WD)更新																	
2月14日	本署化学車(II型イズフオワード4WD)更新	4月 1日	職員6人退職、6人採用(総員 113 人) 組合総務課と畜場を閉場																	
4月 1日	職員3人退職、3人採用(総員 90 人) 家畜指導診療所が組合へ編入 組合総務課事業係を廃止	6月 1日	十日町大火 100 周年記念総合防災訓練実施 「消防史」発行																	
12月 1日	職員1人、1人採用(総員 90 人)	7月19日	本署指令車(ニッサンセドリック4WD)更新 インパルス(新消火システム)2台配備																	
平成 9年		8月21日	西分署日赤救急車(トヨタグランビア II-B型4WD)更新																	
3月24日	津南分遣所を卯ノ木地内に移転・新築竣工	平成13年																		
4月 1日	国のモデル広域指定を受け、本部・署の組織を一部変更し東頸城郡松代・松之山両町の消防事務を共同処理することとなり、1市4町1村で構成する新たな広域消防業務を開始 上越地域消防事務組合から東頸消防署松代分遣所・松之山分遣所の施設、車両等の譲渡を受け、名称を「十日町地域消防署松代分遣所・松之山分遣所」として編入 津南分遣所は卯ノ木地内に庁舎を新築し中里詰所との機能統合を図り「十日町地域消防署南分署」とし、川西分遣所は「西分署」と改称 新たに職員 23 人を採用(うち派遣職員5人)	4月 1日	職員4人採用(3人退職、総員 114 人) 新潟県消防防災航空隊へ1人派遣(2年間) 警防課へ通信指令室を設置																	

7月18日	松代分遣所消防車(日野CD- I 型4WD)更新	6月28日	松代地域集中豪雨(252 mm/日)
7月26日	本署救急2号車(トヨタグランビア II-B型4WD)更新	7月28日	松之山分遣所日赤救急車(トヨタグランビア II-B型4WD)更新
8月22日	南分署指令1号車(ニッサンウィングロード4WD)更新	8月12日	十日町ロータリークラブから救急訓練人形7体寄贈を受ける 集中豪雨(津南町、松之山地区)12~15日
平成14年		8月15日	松之山天水越地内土砂崩れ災害
4月1日	職員4人退職、4人採用(総員114人)	10月25日	樽沢集落、中越地震から1年ぶりに避難指示解除
8月1日	職員1人退職、1人採用(総員114人)	10月28日	本署に指揮車(マツダボンゴ)を配置
平成15年		11月28日	日本損害保険協会から高規格救急車(トヨタHIMEDIC型)の寄贈を受け南分署に配置
2月7日	十日町市消防団、日本消防協会から特別表彰「まとい」受賞	平成18年	
4月1日	職員1人退職、1人採用(総員114人) 新潟県消防防災航空隊派遣解除	1月6日	豪雪により災害救助法適用(十日町市、津南町)
平成16年		1月12日	平成18年豪雪の各地最高積雪
2月1日	広域事務組合発足30周年記念事業として記念誌「鎮(しずめ)」発行		2m77cm(消防本部) 3m13cm(十日町試験地) 3m62cm(津南町役場) 4m42cm(松之山支所)
2月26日	十日町地域メディカルコントロール協議会設立	4月1日	職員3人退職、3人採用(総員115人) 新潟県消防学校教官派遣解除 予防課へ査察指導係を新設、警防課通信指令室を総務課へ移管、警防課救急救助係を廃止し、救急係と救助装備係を新設
4月1日	職員3人退職、2人採用(総員113人) 新潟県消防学校へ1人教官派遣(2年間)	4月10日	職員1人退職、1人採用(総員115人)
7月13日	平成16年7月新潟・福島豪雨 新潟県広域消防相互応援協定に基づく出動要請、災害派遣人員37人(三条市ほか)	10月1日	十日町市消防団女性部発足(入団14人)
10月23日	新潟県中越大震災 午後5時56分中越地方を最大震度7の激震が襲う(十日町地域管内では最大震度6強) 断続的に余震が続き、同年12月28日までの間に有感地震は877回を数えた	12月19日	本署消防1号車(日野CD- I 型4WD)更新 ※緊急消防援助隊仕様
	▼消防本部震災体制 消防計画における地震第二次配備体制自動発令、消防本部震災指揮本部の設置 本署79人、西分署12人、南分署8人、松代分遣所6人、松之山分遣所6人の体制で、交替で休憩をとりながら24時間勤務 10月29日17時から12月17日17時まで順次勤務体制を変更して非常体制を継続し、その後通常体制に移行 ▼災害発生状況(10/23~10/31) 火災件数 十日町市 2件 救助件数 十日町市 4件、松代町1件 救急件数 267件	平成19年	
平成17年		4月1日	職員3人退職、3人採用(総員115人) 組合企画振興課を廃止し総務課へ企画振興係新設 総合福祉センターを津南町へ移管
2月12日	19年ぶりの豪雪 最高積雪 2m76cm	4月6日	新潟県消防職員意見発表会(於:佐渡市)で最優秀賞を受賞
4月1日	5市町村(十日町市、川西町、中里村、松代町、松之山町)が合併し、新十日町市誕生 合併に伴い旧市町村消防団を統合し、十日町市消防団5方面隊体制とした 職員7人採用(5人退職、総員115人) 総務課文書広報係、警防課警防係、機械係、救急係、訓練救助係を廃止し、警防装備係、救急救助係、訓練指導係を新設	7月16日	新潟県中越沖地震 午前10時13分上中越沖を震源とするM6.8の地震が襲う 柏崎地域を中心に甚大な被害が発生(十日町地域管内最大震度5強)
5月20日	高機能消防指令センター(II型)運用開始		▼震災警防本部の設置 新潟県広域消防相互応援協定に基づく出動要請 救助工作車、ポンプ車、タンク車、高規格救急車、泡放射砲積載車にて出動 10日間で16隊、延べ63人が活動にあたる ▼災害出動状況(7月16日発災当日) 消防署 19台 108人 消防団 48台 175人
		11月29日	本署救急1号車(トヨタハイエース)更新 ※緊急消防援助隊仕様、高規格救急車

平成20年

- 2月12日 十日町市消防団十日町方面隊本部分団第2部第1班「防火幕」の歴史に幕、多目的災害対応班へ
- 2月29日 十日町市消防団が日本消防協会から防災活動車(ダイハツハイゼット)の寄贈を受け、十日町連絡3号車とし本署に配置
- 3月21日 十日町市消防団十日町方面隊本部分団のポンプ自動車(日野 CD- I 型4WD)更新
- 4月 1日 職員8人退職、8人採用(総員 115 人) 警防課警防施設係と救助装備係を統合し、警防係新設、警防課訓練指導係を廃止し救助係新設
- 7月 1日 平成 19 年度退職者から十日町地域消防本部・署旗の寄贈を受ける
- 8月 3日 第 59 回新潟県消防大会を十日町市で開催
- 10月27日 新潟県立十日町病院と救急現場における救急業務に関する協定書締結

平成21年

- 2月 5日 本署消防2号車(日野 CD- II 型4WD CAFS 搭載)更新 ※緊急消防援助隊仕様
- 3月23日 消防団協力事業所表示制度を導入 (認定事業所表示証交付式開催)
- 4月 1日 職員5人退職、6人採用(総員 116 人) 津南町消防団女性部発足 (入団 10 人) 総務課通信指令室を警防課へ移管、企画広報係新設、警防課救助係を廃止し消防署防災救助係新設
- 9月20日 「消防ひろば」が 20 回を迎える
- 11月24日 西分署日赤救急車を高規格救急車(トヨタハイエース)に更新
- 12月10日 泡放射砲積載車を廃車し、資機材搬送車(日野レンジャー 4WD)を本署に配置

平成22年

- 4月 1日 職員5人退職、5人採用(総員 116 人) 新潟県消防学校へ1人教官派遣(2年間) 消防本部総務課に消防庁舎建設準備室、企画事業係を新設
- 4月15日 本署救急2号車(高規格救急車、トヨタハイエース)更新 ※緊急消防援助隊仕様
- 8月25日 総務省消防庁から多目的防災活動車貸与。十日町市消防団十日町方面隊本部分団へ配置
- 10月28日 松之山分遣所救急車(高規格救急車、トヨタハイエース)更新 ※緊急消防援助隊仕様

平成23年

- 1月 豪雪により災害救助法適用(十日町市、津南町) 平成 23 年豪雪の各地最高積雪

1月31日	3m10cm(津南町役場)
2月 1日	2m52cm(消防本部) 2m90cm(十日町試験地) 3m69cm(松之山支所)

3月11日

東北地方太平洋沖地震
午後2時46分宮城県沖を震源とするM9.0の地震が発生、東北地方を中心に甚大な被害

新潟県緊急消防援助隊として、救急隊3人、救急支援隊2人が宮城県石巻市に出動第8,10,13次隊にわたり、延べ17人を派遣十日町病院DMATチーム(医師1人、看護師1人、連絡調整員1人)の搬送として、連絡1号車で隊員2人が福島医大へ出動福島県内の入院患者を新潟県内の医療機関へ搬送するため、新潟県相互応援協定に基づき新潟県消防学校で患者を引き継ぎ、県内病院へ搬送(3/19~20)

3月12日

新潟・長野県境地震
午前3時59分、長野県北部を震源とするM6.7の地震発生。十日町市中里・松代・松之山、津南町で震度6弱を観測。同地区を中心に大きな被害を生じる

▼災害出動状況
火災1件、救助7件、調査55件

4月 1日

職員3人採用(職員5人退職、総員 114 人) 松代・松之山分遣所を統合、十日町市松之山小谷地内に「しづみ分署」を開署し、業務を開始(分署長・副分署長・当直各5人体制) 警防課救急係を廃止し救急管理係新設、消防署へ救急救助課と救急指導係新設、総務課庶務係と企画広報係を廃止し庶務広報係新設

7月27日

平成 23 年新潟・福島豪雨

▼降り始めからの累計雨量(7/27~7/30)	
中心市街地(地域振興局)	493 mm
市内最大雨量(八箇峠)	565 mm
▼1時間の最大雨量	
中心市街地(地域振興局)	120 mm (29日20~21時)
▼市内最大時間雨量(小泉)	121 mm (29日19時50分~20時50分)
▼出動状況(7/28~8/2)	
消防本部・署の災害出動	82件
消防本部・署の出動延人員	415人
消防団の出動延人員	2,057人

11月 9日

十日町地域消防本部、東日本大震災において現場での救急救助活動などの功績により、総務大臣表彰受賞

11月25日

十日町市消防団、平成 23 年新潟・福島豪雨に際し水防活動の功績により、国土交通大臣表彰受賞

11月26日

本署指揮連絡1号車(トヨタハイエース)更新

平成24年

- 1月 豪雪により災害救助法が適用(十日町市)
- 2月 豪雪により災害救助法が適用(津南町)

	<p>▼平成24年豪雪の各地最高積雪 2月11日 2m90cm(消防本部) 3m02cm(十日町試験地) 3m29cm(津南町役場) 4m17cm(松之山支所)</p>		<p>消防救急無線のデジタル化運用開始総務課庶務広報係を廃止し庶務係と企画広報係新設、警防課救急管理係を廃止し警防課救急室と救急係新設、消防署救急救助課と救急指導係廃止</p>
4月1日	新潟県消防学校教官派遣解除 職員4人退職、4人採用(総員114人)	5月2日	十日町地域救急ステーション運用開始 (県立十日町病院内)
5月24日	南魚沼市欠之上地内八箇峠トンネル工事現場爆発事故 新潟県広域消防相互応援協定に基づく出動要請、災害派遣人員34人	11月2日	南救急1号車(トヨタ ハイエース)更新
12月7日	本署救助工作車(日野レンジャー)更新 ※緊急消防援助隊仕様	12月	訓練棟竣工
平成25年		12月22日	糸魚川市駅北大火発生
1月	豪雪により災害救助法が適用(十日町市) 豪雪により災害救助法が適用(津南町)		▼新潟県広域消防相互応援協定に基づく出動要請、災害派遣:消火隊1隊(人員13人)
	<p>▼平成25年豪雪の各地最高積雪 2月22日 2m54cm(消防本部) 3m88cm(松之山支所) 2月25日 2m89cm(十日町試験地) 2月26日 3m06cm(津南町役場)</p>	12月26日	連絡2号車廃車に伴い川西方面隊中仙田積載車(ニッサンアトラス)を本署に所管替え、連絡2号車とする
4月1日	職員3人採用(職員3人退職、総員114人)	平成29年	
7月1日	職員1人退職に伴い1人採用(総員114人)	2月22日	本署指令車(トヨタ エスクァイア)更新
9月1日	新潟県・十日町市総合防災訓練を十日町市で開催	3月13日	職員1人退職(総員115人)
10月28日	広域事務組合発足40周年記念事業として講演会を開催し、記念誌「鎮(しずめ)」を発行	4月1日	職員6人退職、5人採用(総員114人)
平成26年		10月6日	本署救急1号車(トヨタ ハイエース)更新
4月1日	職員4人採用(職員2人退職、総員116人) 南分署3人増員(20人)、西分署3人減員(13人) 消防庁舎建設準備室を建設事業室へ名称変更	11月16日	十日町はしご1号車(日野屈折はしご付消防ポンプ自動車)更新
11月14日	消防救急デジタル無線局舎、十日町市堀之内城山地区内に竣工	平成30年	
平成27年		2月14日	豪雪により災害救助法が適用(十日町市)
4月1日	職員5人採用(職員6人退職、総員115人) 新潟県消防防災航空隊へ1人派遣(3年間)		▼平成30年豪雪の各地最高積雪 2月19日 1m97cm(消防本部) 2m39cm(十日町試験地) 2m89cm(松之山支所)
9月7日	関東・東北豪雨	4月1日	新潟県消防防災航空隊派遣解除 職員1人退職、2人採用(総員115人) 南分署3人増員(23人)、小隊体制とし警防分隊と救急分隊を編成、しづみ分署3人減員(14人)
9月13日	新潟県緊急消防援助隊として、消防隊6人が茨城県常総市に出動	7月1日	職員1人退職に伴い1人採用(総員115人)
10月31日	新消防本部庁舎、四日町新田地区内に竣工	8月1日	(株)玉垣製麺所と災害等における物資の供給に関する協定を結ぶ
平成28年		平成31年	
1月29日	本署化学車(日野レンジャー)更新 ※緊急消防援助隊仕様	4月1日	職員5人退職、5人採用(総員115人) 救急ステーション救急3号車(トヨタハイエース)更新
3月31日	川治内後地内の消防本部と霜条地区内の西分署を閉庁 総務課消防庁舎建設事業室を廃止	令和元年	
4月1日	新消防本部庁舎運用開始(四日町新田地区内) 職員1人退職、2人採用(総員116人)	7月1日	一般社団法人ドローン普及協会と「災害時における無人航空機による支援協力に関する協定」を締結
		9月8日	「消防ひろば」が20回を迎える
		11月16日	台風第19号(令和元年東日本台風) 新潟県緊急消防援助隊として、消防隊5人が長野市に出動
		12月3日	指揮車(災害対応特殊消防車、トヨタハイエース)更新

12月 6日 職員1人退職(総員 114 人)

令和2年

1月15日 国内で初の新型コロナウイルス感染者確認

4月 1日 職員7人退職、5人採用、2人再任用(総員 114 人)

4月 7日 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が7都府県(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、大阪府、兵庫県、福岡県)を対象区域として発出。

4月16日 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の区域が全都道府県に拡大

5月14日 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が新潟県を含む 39 県で解除

5月25日 新型コロナウイルス感染症緊急事態解除宣言が発出